


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課

担当課長名：東 智徳

<b>事業名</b> ふじさわあつぎせんほかいち 藤沢厚木線外1	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> 神奈川県	
<b>起終点</b> 神奈川県藤沢市葛原 神奈川県綾瀬市深谷			<b>延長</b> 2.5 km
<b>事業概要</b> ：本路線は藤沢市、綾瀬市、座間市、相模原市の4市を連絡し、県央・湘南地域の南北軸を形成する広域的な幹線道路である。			
H6年度事業化	S32年度都市計画決定 (H3年度変更)	H6年度用地着手	H8年度工事着手
<b>全体事業費</b>	108億円	<b>事業進捗率</b>	82% 供用済延長 0 km
<b>計画交通量</b>	41,300台/日		
<b>費用便益分析結果</b> B/C (事業全体)2.6 (残事業)13.4	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 24/125億円 (事業費：22/123億円 維持管理費：2/2億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) /321億円 (走行時間短縮便益：/282億円 走行費用減少便益：/32億円 交通事故減少便益：/7億円)	<b>基準年</b> 平成15年
<b>事業の効果等</b> 円滑なモビリティの確保・・・現道の旅行速度が改善される。 国土・地域ネットワーク・・・現道等における大型車のすれ違い困難を解消する。 災害への備え・・・緊急輸送路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成。			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 当該事業について地元議員より要望が出されており、藤沢市長及び綾瀬市長から現道藤沢座間厚木線の管理を条件に、県での整備の要望書が提出されております。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 周辺の交通渋滞は、現在も慢性的に発生しており、本事業の重要性・必要性は依然として高い。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得は完了しており、事業進捗率も78%と進んでいることから代替案は難しく、現在の計画で進めたい。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 平成16年度中に深谷立体の上部工を完成させ、立体部分の2車線供用を目指す。また、用田バイパスとの立体部を18年度までに完成させ、全線4車線供用を目指す。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ：なし			
<b>対応方針</b> ：早期完成を目指し、事業を継続する。			
<b>対応方針決定の理由</b> ：県央・湘南地域は南北軸が脆弱なため、広域的な幹線道路である本事業の重要性の高さに変化はない。また、用地買収も完了している。			
<b>事業概要図</b> 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものです。